

今年度の新たな施策・事業の進捗状況

1 学生が学ぶ環境の充実

- ・ 推進施策(1)－①「学生の安心・安全に対する意識を高めるための啓発」

⇒ 安心・安全な学生生活を送るためのハンドブック（仮称）の制作

京都で学ぶ学生が、災害時の対応や犯罪などに巻き込まれないための知識を身に付けることができるよう、防災・防犯などに関する注意点など、安心・安全に関する幅広い情報を掲載したハンドブックを、京都府警察などの関係機関と連携して作成する。

作成したハンドブックは、各大学に配布するとともに、インターネットを通じて周知し、学生向けの啓発などに活用してもらうことにより、学生の防災・防犯等への意識の向上を図る。

<進捗状況>

掲載項目を集約し、デザインやレイアウト等を検討中。今年度中にハンドブック及び啓発用のカードを作成予定。

掲載項目…災害対策、性犯罪対策、自転車マナー、薬物乱用防止、インターネット利用詐欺防止、地域コミュニティへの参画など16テーマ

- ・ 推進施策(2)－①「学生が京都の魅力にふれる機会の充実」

⇒ 「京都・和の文化体験の日」の実施

日本文化の真髄である京都の文化芸術を次の世代にしっかりと伝えていくため、大学生をはじめとする若者が「和の文化」に触れ、体験し、伝統産業に親しむ機会を提供する。

<進捗状況>

平成27年2月14日（土）に祇園甲部歌舞練場等で開催し、大学生・高校生200名を無料招待する（事前申込制）。

2 大学・学生の国際化の促進

- ・ リーディング施策(1)「留学生誘致に向けた海外への広報」

⇒ 留学生誘致に向けた「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力発信

世界中の若者に京都を身近に感じていただくとともに、「京都の大学で学びたい」、「京都で学生生活を送りたい」という思いを持っていただくことで、京都の大学への留学につなげるため、京都で学ぶ留学生ならではの視点を取り入れ、京都での学生生活、京都の大学、まちの魅力を伝えるプロモーション映像を制作する。

<進捗状況>

留学生が企画・出演し、留学生誘致プロモーション映像「Why Choose Kyoto?」を制作。

- ・リーディング施策(2)「大学のまち京都の魅力を体感できる短期留学受入の実施」

⇒

「大学のまち京都」の魅力を体感できる短期留学受入事業

日本への留学に関心のある海外の学生に、実際に、京都へお越しいただき、京都の奥深い魅力を知ってもらうことで、京都の大学への留学につなげるため、多様な大学が集積する京都の強みを活かした特色ある講義と京都体験（伝統文化、伝統産業、先端産業など）を組み合わせた2週間程度の受入プログラムを京都市と大学コンソーシアム京都の協働により開発し、27年度に海外から学生を受け入れる。

＜進捗状況＞

大学教職員をはじめとした運営委員会によりプログラムの内容を検討中。平成27年1月末を目途にプログラムを確定させ、広報を開始予定。

- ・推進施策(2)－②「留学生向け住宅の提供支援」

(4 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化 リーディング施策(2)「大学と地域の連携・コーディネートの一環としての充実」)

⇒

京都市、京都橘大学及び醍醐中山団地町内連合会の連携協定締結による団地活性化の取組

京都橘大学が醍醐中山団地の空き住戸を活用し、そこに学生（留学生を含む。）がルームシェア形式で居住することにより、住民として団地の活動に参加するとともに、大学が、団地内に地域と連携する拠点となる「地域連携センター」の分室を設置・運営し、子育て世帯や高齢者の支援等を行うことで、団地の活性化を目指す。

＜進捗状況＞

平成27年4月開始に向け、26年10月30日に協定を締結し、住宅の改修工事を実施中。

3 学生の進路・社会進出の支援

- ・リーディング施策(1)「京都企業と連携した人財育成」

⇒

京都企業と連携した次代の京都を担う人財育成事業

大学や国籍の枠を越えた留学生を含む学生を、グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持った「グローバル人財」として育成するとともに、学生と京都の企業がお互いを知る機会を創出するため、学生のチームが、京都企業と連携したプロジェクト（企業の提示する課題の解決、学生から企業への提案など）に取り組む。

＜進捗状況＞

2プロジェクトを実施済み、5プロジェクトを実施中、今後3プロジェクトを実施予定。これまでに8大学から38名の学生が参加（うち留学生10名）。

プロジェクトの例…企業ウェブサイトのリニューアル提案、学生と企業人との交流会の企画、外国人観光客が快適に交通機関を利用するための提案など

4 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化

- ・ 推進施策(3)－①「地域の問題解決につながる都市政策研究の推進」

⇒ 未来の京都創造研究事業における大学都市政策課題の追加

「大学のまち京都」が有する知の集積を活用し、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うとともに、若手研究者などの発掘・育成とネットワーク形成を図る「未来の京都創造研究事業」の指定課題において、大学都市政策に関する課題を追加。

26年度は、「外国人留学生の大学卒業後の就業に関する動向の分析と自治体、企業及び大学における支援方策に関する研究」を実施。

<進捗状況>

日本での就業に関する意識、就業を阻害する要因等を把握するため、現役留学生、元留学生、企業に対するアンケートやヒアリングを実施中。

5 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化

- ・ リーディング施策(1)「学生の主体的活動の促進」

⇒ 輝く学生応援プロジェクトにおける「学生ボランティアチャレンジ」の新設

キャンパスプラザ京都1階の学生の活動拠点「学生 Place⁺（プラス）」において、学生のボランティア活動への参加をコーディネートすることにより、学生が社会的な課題に触れる機会を創出するとともに、活動後の振り返りの実施により学生の成長を支援する。

<進捗状況>

平成26年10月1日から11月14日まで参加学生を募集。11月15日にボランティア講座を開催し、25名が活動をスタート。

6 プロモーション戦略の強化

- ・ リーディング施策(1)「学生の力を活用した国内外への情報発信」

⇒ 京都B&Sプロジェクト

全国から訪れる修学旅行生や関西圏からの校外学習生に対し、京都で学ぶ大学生がガイド役となり、兄弟、姉妹（Brother&Sister）のように交流しながら、大学キャンパスや観光地を散策・観光する事業を、京都市・大学コンソーシアム京都・JTB西日本京都支店が共同実施。

<進捗状況>

全国の旅行代理店を通じて中学校・高校へ広報している。